

国際交流クラブ 1 月例会（第 2 回）の実施報告



1 月 24 日(金)午後 6 時半から当財団主催の国際交流クラブ第 2 回交流会を実施しました。今回は、「日本のおどりのお話」と題して、国際文化交流団体である「鯉の会」の西川五郎(にしかわ ごろう)先生をお招きして、日本の伝統文化のひとつである踊りについてわかりやすくお話しいただくとともに、扇子の使い方をご指導いただいたり、おどりの動作の活用として「鯉の会」が運動科学に基づいて考案した NOSS というエクササイズについてもビデオを観ながらご説明いただきました。参加した 30 名近い留学生、一般の方々には日本の踊りのすばらしさに改めて感動していました。西川五郎先生の踊りの講演の後国際交流クラブの新年懇親会を開催し、各大学の留学生同士の交流とともに日本人参加者との交流もテーブルのあちこちで賑やかに行われました。

日本舞踊を通じて留学生と日本人学生の交流を深める様々な活動に取り組んでいる「鯉の会」は、1983 年に西川鯉近さんと西川五郎さんが設立、これまでに 1000 人近い世界各国の留学生に日本舞踊を教えて来られました。今回お話しいただいた西川五郎先生は留学生や日本人学生に日本舞踊の魅力を伝えるべく日々努力されています。

以下の写真はその例会の様子です。



西川先生の踊りの所作を習う留学生



扇子の使い方を指導する西川五郎先生



参加者全員での集合写真



扇子の使い方を実践する参加者